

～ 魚たちのえんぶり舞い展 ～ 展示予定魚種

	魚種	特徴	展示個体数
どうさい えんぶり	オトメベラ 	<ul style="list-style-type: none"> 学名: <i>Thalassoma lunare</i> ベラ目 ベラ科 体長約6~8cm 活動的で一日中動き回っています。縄張り意識を持つため、邪魔な魚を追いだす様子も見られます。メスとして生まれ、集団で生活していますが、一番成熟している個体がオスに変化します。性別が切り替わるまで10日ほどと言われています。 	1
なが えんぶり	ハタタテダイ 	<ul style="list-style-type: none"> 学名: <i>Heniochus acuminatus</i> スズキ目 チョウチョウウオ科 体長約6~8cm 大きく伸びた背びれが特徴的。インド洋から太平洋のサンゴ礁など暖かい海に生息しており、日本でも見ることができます。低めの水温にも強いようで、東北の海での目撃例もあるそうです。 	5
田植え	アカハチハゼ 	<ul style="list-style-type: none"> 学名: <i>Valenciennea strigata</i> スズキ目 ハゼ科 体長約5cm 分布: インド洋～中部・西部太平洋 頭が鮮やかな黄色で、眼の下に青色の帯がある美しいハゼの仲間。名前のアカハチが何を意味しているのかは今のところ不明のようです。ペアで見つかることが多く、砂を口に入れて、砂の中の微生物などを食べます。 	3
松の舞	アカマツカサ 	<ul style="list-style-type: none"> 学名: <i>Myripristis berndti</i> キンメダイ目 イットウダイ科 体長約10cm 分布: インド洋～太平洋 暖かい海のサンゴ礁などに生息します。ですがサンゴの間を泳ぎ回るような魚ではなく、サンゴや大きな岩が洞窟のようになっている暗い場所に集団を作ります。夜になると暗い海へエサを探しに出かけていきます。 	3

恵比寿舞	アヤメエビス 	<p>・学名:<i>Sargocentron ittodai</i> キンメダイ目 イットウダイ科 全長約10cm</p> <p>・分布:インド洋～太平洋</p> <p>・体色は赤色で、大きな白い帯があります。この紅白の模様が名前の由来になっています。サンゴ礁域や岩礁に生息し、小さな群れをつくります。夜行性で昼間は岩陰や岩の割れ目などに隠れており、夜になると外に出て小さな魚や、エビやカニなどの甲殻類を捕食します。</p>	3
鳥帽子 (馬)	ヨウジウオ 	<p>・学名: <i>Syngnathus schlegeli</i> ヨウジウオ目 ヨウジウオ科 全長約7cm</p> <p>・分布:インド洋～太平洋</p> <p>・背びれ泳ぎが苦手なため、主に浅瀬の海草の中に生息します。その形と色によって周囲の植物に溶け込み、天敵と獲物の目から逃れます。尾鰭は扇子のような形をしており、アマモなどに体を巻き付けることができます。</p>	3

約6種 約18匹

※展示魚種および個体数は変更となる場合がございますが、予めご了承ください。